

スズキ、新開発の小型超音波溶着機「AUH30CW」を JAPAN PACK 2019へ出展



小型超音波溶着機「AUH30CW」

スズキ株式会社は、新開発の**小型超音波溶着機「AUH30CW」**を、10月29日(火)から11月1日(金)に幕張メッセにて開催される JAPAN PACK 2019(日本包装産業展)に参考出品する。

超音波溶着機は、超音波の振動による摩擦熱を利用して、プラスチックやビニールなどの素材^{※1}を素早く簡単に溶着することができる産業機器である。シンプルな操作で安全に溶着でき、ブリストパックやフードパック、不織布、薄物樹脂部品など、様々な用途に使用することができる。

JAPAN PACK 2019ではこの他に、超音波ホッチキス「はるる」をはじめとする超音波溶着機シリーズや超音波カッターなど、スズキ産業機器の多彩なラインアップを展示する。

●小型超音波溶着機「AUH30CW」の主な特長

- ・ ハンドピース(持ち手)を小型化し、ハンディタイプ溶着機で業界最小クラスとなる手のひらサイズを実現^{※2}。
- ・ ハンドピースは専用機やロボットに搭載しやすいストレート形状とし、エア冷却にも対応した構造とすることで^{※3}、小型ながら安定した連続使用を可能にした。
- ・ 先端部(ホーン)はお客様のご要望に合わせて多様な形状に製作可能とした。(別売)^{※4}

また、販売元となる株式会社スズキマリンでは「スズキ超音波製品サンプルテスト・貸出し申込み専用サイト」を開設しており、本日より企業向けに「AUH30CW」のテスト機の無料貸出しを開始する。

サンプルテスト・貸出し申込み専用サイト <https://www.suzuki-ultrasonic.com>

※1:熱可塑性樹脂(加熱により軟化する樹脂素材)。素材の種類や厚み等により溶着具合や強度は変化する。

※2:ハンディタイプの小型超音波溶着機。2019年10月現在、スズキ調べ。

※3:専用機・ロボットに搭載する場合は外部入出力ユニット(別売)が必要。ハンドピース取付治具、エア用継手、エアホース、エア供給機器類は別途必要。

※4:形状等によってはご要望にお応えできない場合がある。



AUH30CW(別売の外部入出力ユニット装着時)



AUH30CW ロボット搭載状態
(別売の外部入出力ユニット装着時)

(ご参考) JAPAN PACK 2019 (日本包装産業展)の概要

主催 一般社団法人 日本包装機械工業会

目的 国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機器、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的とする。

JAPANPACK2019ホームページ <https://www.japanpack.jp/>